

## 「自然体験と広聴広報に関するアンケート」の実施結果報告

「自然体験と広聴広報に関するアンケート」の実施結果を次のとおり報告します。  
アンケートにご協力くださいました回答者の皆さんに厚く御礼申し上げます。  
アンケート結果につきましては、今後の広聴広報業務の参考とさせていただきます。  
なお、アンケートの設問や集計結果については、以下のURLをご覧ください。

<http://www.e-kocho.pref.mie.jp/monitor/index.html?a=top;result&id=239>

### アンケートの概要

#### 1 アンケート実施期間

平成 29 年 2 月 17 日（金）から 3 月 3 日（金）まで

#### 2 回答状況

対象者数 1,360 人

回答者 865 人

回答率 63.6 %

#### 3 回答者の属性

性別 男性 427 人(49.4%)

女性 438 人(50.6%)

#### 年代別

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	57人	180人	218人	197人	167人	46人
割合	6.6%	20.8%	25.2%	22.8%	19.3%	5.3%

#### 地域別

	北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
人数	424人	222人	110人	77人	32人
割合	49.0%	25.7%	12.7%	8.9%	3.7%

\*北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、桑名郡、員弁郡、三重郡

中勢：津市、松阪市、多気郡 伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡

伊賀：名張市、伊賀市

東紀州：尾鷲市、熊野市、北牟婁郡、南牟婁郡

## アンケートの結果

### 【設問 1】自然体験の経験について（あなたは、三重県内で自然体験の経験がありますか？）

三重県内で自然体験の経験がない方が 43.7%と半数近く占めました。自然体験を行う方が増えるよう、自然体験を行うことによる効果や県内で魅力的な自然体験ができることについて、様々な方法で広報を行っていきたいと考えています。

① ある	487 人	56.3%
② ない	378 人	43.7%

### 【設問 2】自然体験の内容について（Q1で「ある」と答えていただいた方にお聞きします。どのような自然体験でしたか？）（複数回答可）

三重県内で行った自然体験は、「トレッキング」「川遊び」「野外キャンプ」が上位となりました。

回答が少なかった体験については、まだ認知度が低いものもあることから、体験できる場所や季節などの情報だけでなく、その特徴や魅力を発信し、認知度の向上を図る必要があると考えています。

① トレッキング（登山を含む）	257 人	52.8%
② 川遊び	304 人	62.4%
③ ラフティング	10 人	2.1%
④ スタンド・アップ・パドルボード（SUP）	5 人	1.0%
⑤ マウンテンバイク	24 人	4.9%
⑥ カヤック	27 人	5.5%
⑦ フィッシング	178 人	36.6%
⑧ 野外キャンプ	251 人	51.5%
⑨ 農林漁業体験	63 人	12.9%
⑩ 自然観察	180 人	37.0%
⑪ その他	17 人	3.5%

### 【設問 3】自然体験の目的について（Q1で「ある」と答えていただいた方にお聞きします。自然体験を行った目的は何ですか？）（複数回答可）

自然体験の目的は、「心身のリラックス、ストレス発散」「自然や季節の満喫」「子どもの情操教育」が上位となりました。

自然体験には、体験者の健康増進だけでなく、環境意識の醸成や災害対応力の向上、子どもの生き抜いていく力の育成など、さまざまな効果が期待できます。こうした視点の広報も行い、自然体験を行う人を増やしていきたいと考えています。

① 心身のリラックス、ストレス発散	264 人	54.2%
② 自然や季節の満喫	332 人	68.2%
③ 子どもの情操教育	204 人	41.9%
④ 体を動かすため	191 人	39.2%
⑤ 観光の一環として	99 人	20.3%
⑥ その他	40 人	8.2%

**【設問 4】自然体験の情報入手について（あなたは、自然体験についての情報を得る場合、どの手段を用いますか？）（複数回答可）**

自然体験の情報を入手する手段は、「新聞、テレビ、ラジオ」「ホームページ」「チラシ、パンフレット」が上位となりました。

その他の手段を利用されている方も多いため、さまざまな手段を用いて広報を行っていきたくと考えています。

① 新聞、テレビ、ラジオ	498 人	57.6%
② 雑誌	293 人	33.9%
③ ホームページ	445 人	51.4%
④ SNS（Facebook や Twitter など）	129 人	14.9%
⑤ チラシ、パンフレット	389 人	45.0%
⑥ その他	62 人	7.2%

**【設問 5】自然体験の希望について（あなたが、今後やってみたいと思う自然体験は何ですか。）（複数回答可）**

今後やってみたい自然体験は、「トレッキング」「野外キャンプ」「自然観察」が上位となりました。

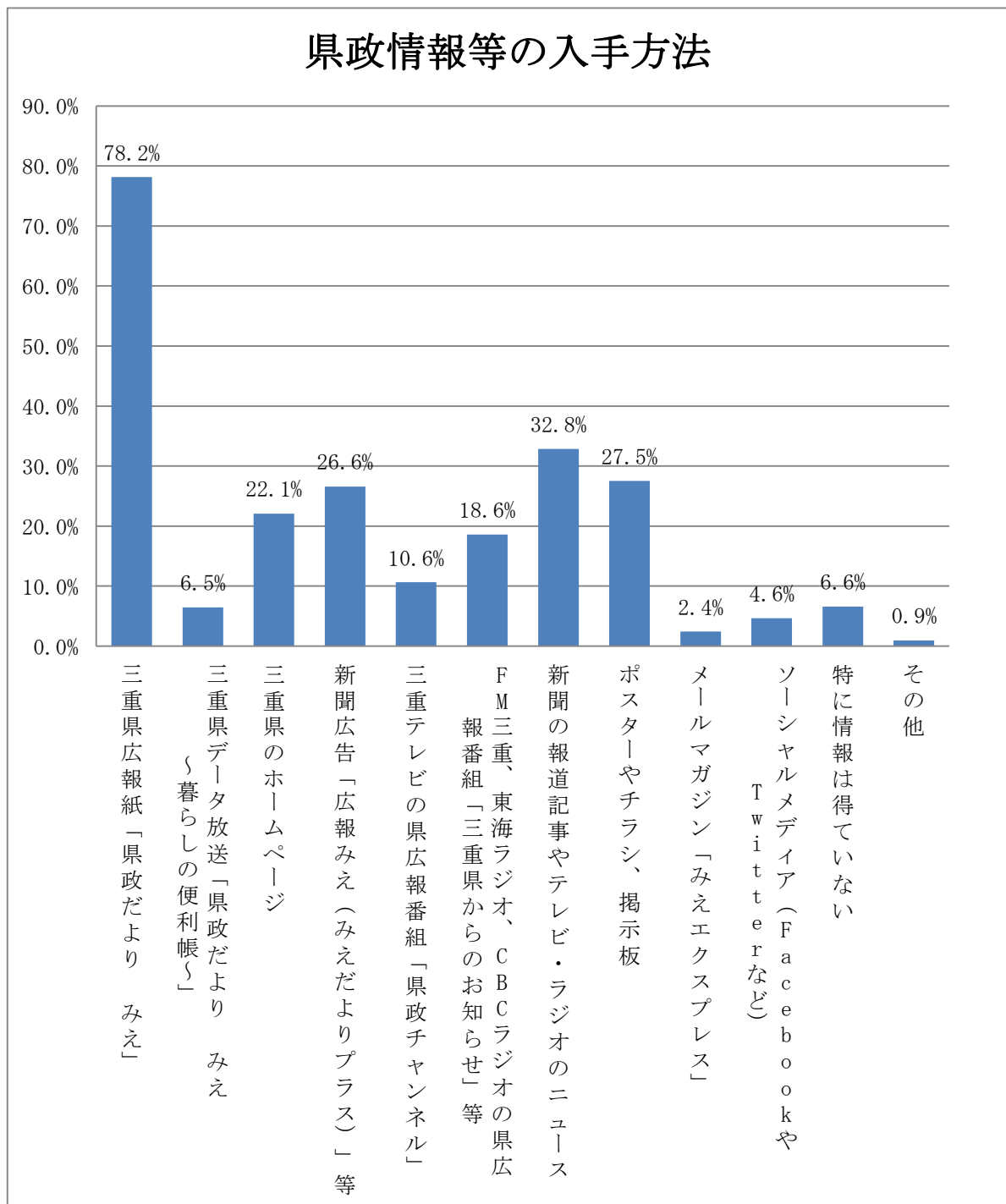
その他の体験についても一定のニーズがあり、多くの方が自然体験を行いたいと考えていることから、実際に自然体験のフィールドを訪れていただけるよう、自然体験にふれるきっかけづくり等のイベントを行っていきたくと考えています。

① トレッキング（登山を含む）	383 人	44.3%
② 川遊び	227 人	26.2%
③ ラフティング	162 人	18.7%
④ スタンド・アップ・パドルボード（SUP）	73 人	8.4%
⑤ マウンテンバイク	86 人	9.9%
⑥ カヤック	164 人	19.0%
⑦ フィッシング	201 人	23.2%
⑧ 野外キャンプ	256 人	29.6%
⑨ 農林漁業体験	200 人	23.1%
⑩ 自然観察	354 人	40.9%
⑪ その他	37 人	4.3%

【設問6】現在の県政情報等の入手方法について（複数回答可）

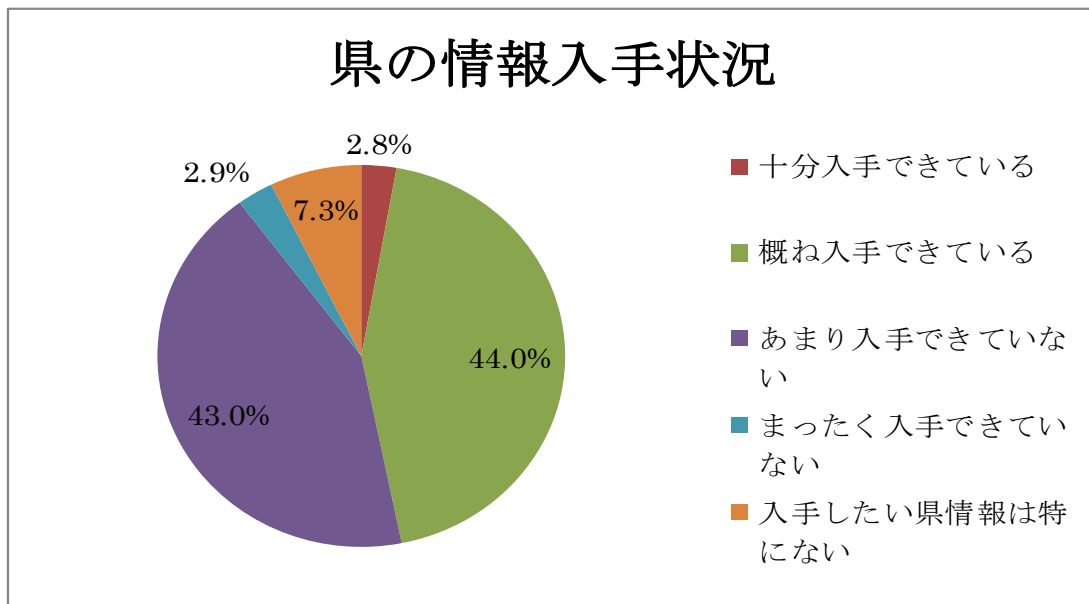
県の事業やイベントなどの情報源については、「三重県広報紙『県政だより みえ』」が78.2%（676人）と最も多く、次いで、「新聞の報道記事やテレビ・ラジオのニュース」が32.8%（284人）、「ポスターやチラシ、掲示板」が27.5%（238人）などとなっています。平成26年4月から開始した「三重県データ放送『県政だより みえ～暮らしの便利帳～』」は6.5%（56人）でした。

県民の皆さんの情報入手手段が多様化していることから、より効果的に広報活動を実施するため、広報紙、データ放送、県のホームページなど、それぞれの媒体の優れた点を生かし、今後も県の情報をより分かりやすく、適切に発信していきます。



### 【設問7】 県の情報入手状況について

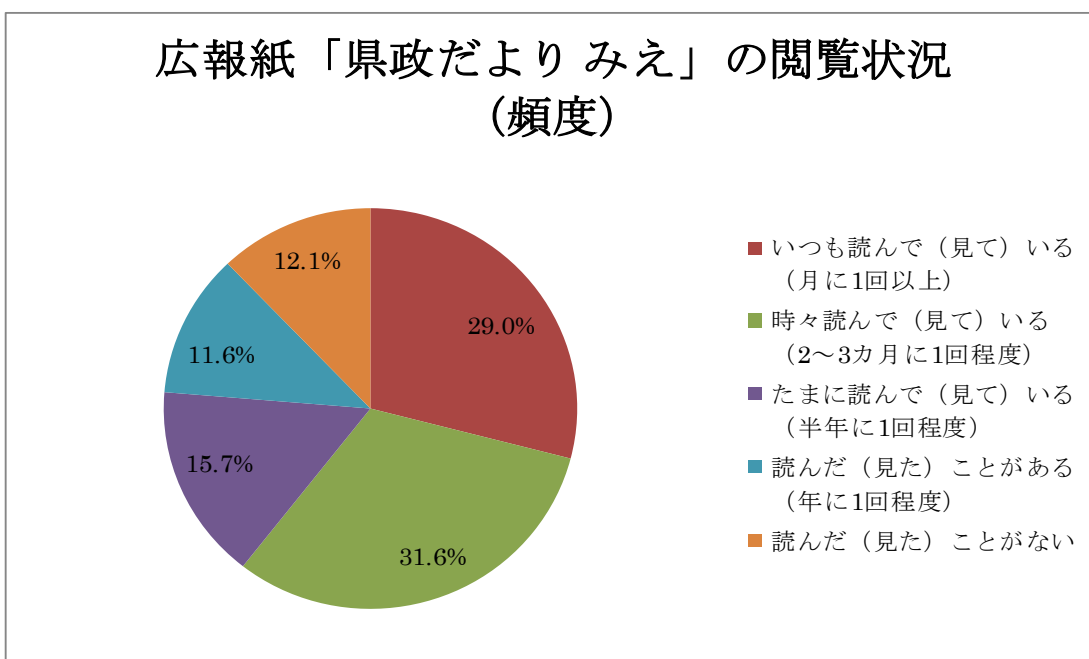
得たいと思う県の情報について「十分入手できている」、「概ね入手できている」を選択した方は、合わせて46.8%（405人）となっている一方で、45.9%（397人）の方は「あまり入手できていない」「まったく入手できていない」と感じています。県民の皆さんに県政情報を的確にお届けできるよう、各媒体の特性を生かし、さまざまな媒体を活用して、より積極的な情報発信に取り組んでいきたいと考えています。



### 【設問8】 広報紙「県政だより みえ」の閲覧状況（頻度）について

広報紙「県政だより みえ」について「いつも読んで（見て）いる」、「時々読んで（見て）いる」を選択した方は、合わせて60.6%（524人）となっている一方で、27.3%（236人）の方は「たまに読んで（見て）いる」「読んだ（見た）ことがある」となっています。

県民の皆さんに親しんで読んでいただけるよう、掲載内容を充実し、県政情報を的確にお届けしていききたいと考えています。



### 【設問9】 広報紙「県政だより みえ」について（自由記述）

アンケートに回答いただいた 865 名の半数を超える 582 名の方から感想やご意見、ご提案をいただきました。

「読みやすい」「写真やイラストが見やすい」「県の取り組みがよくわかる」といったご意見がある一方で、「全体的に硬い感じがする」「写真やイラストを増やしてほしい」といった紙面への要望もありました。さまざまな世代の皆さんに興味を持っていただけるよう、掲載内容やデザインなどの紙面づくりを工夫していきます。

また、「折り込みにあることを気づかなかった」「配布場所がわからない」といった配布に関するご意見も寄せられました。

「県政だより みえ」は毎月第一日曜日の朝刊に折り込んでお届けするほか、スーパー、コンビニなどの身近な施設等にも配置しております。また、三重県ホームページにも電子ブック版などを掲載していますので、ぜひご覧ください。

（参考：三重県ホームページ）

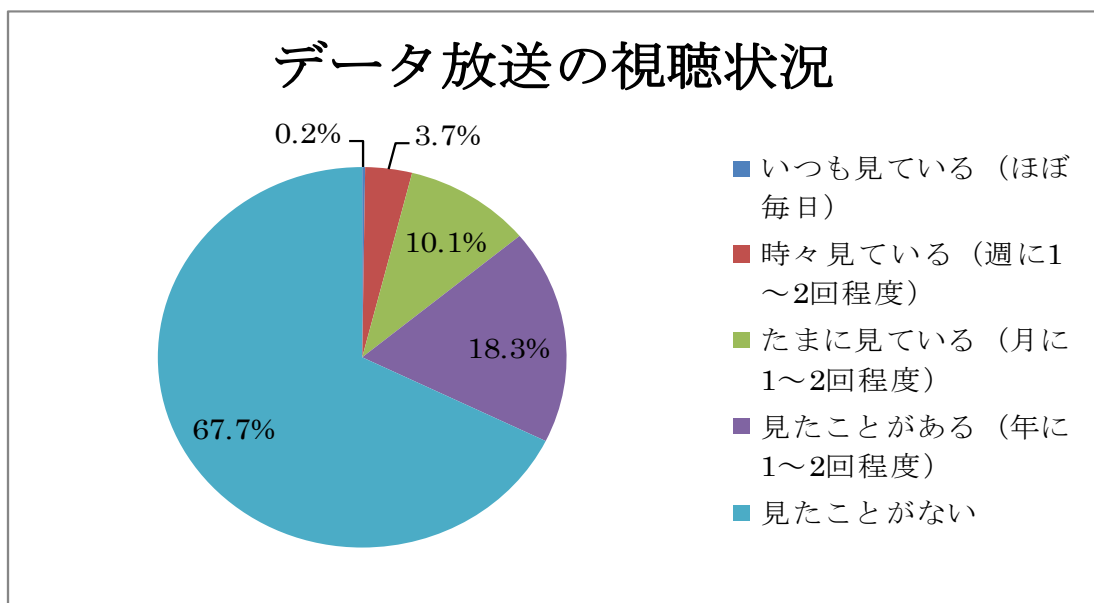
<http://www.pref.mie.lg.jp/DAYORI/index.htm> （県政だより みえ）

<http://www.pref.mie.lg.jp/DAYORI/85259033277.htm> （いろいろな県政だより みえ）

### 【設問10】 データ放送の視聴状況について

三重テレビで配信している三重県データ放送「県政だより みえ～暮らしの便利帳～」についてお聞きしたところ、「いつも見ている」「時々見ている」「たまに見ている」「見たことがある」とご回答いただいた方の合計は 32.3%（279 人）でした。

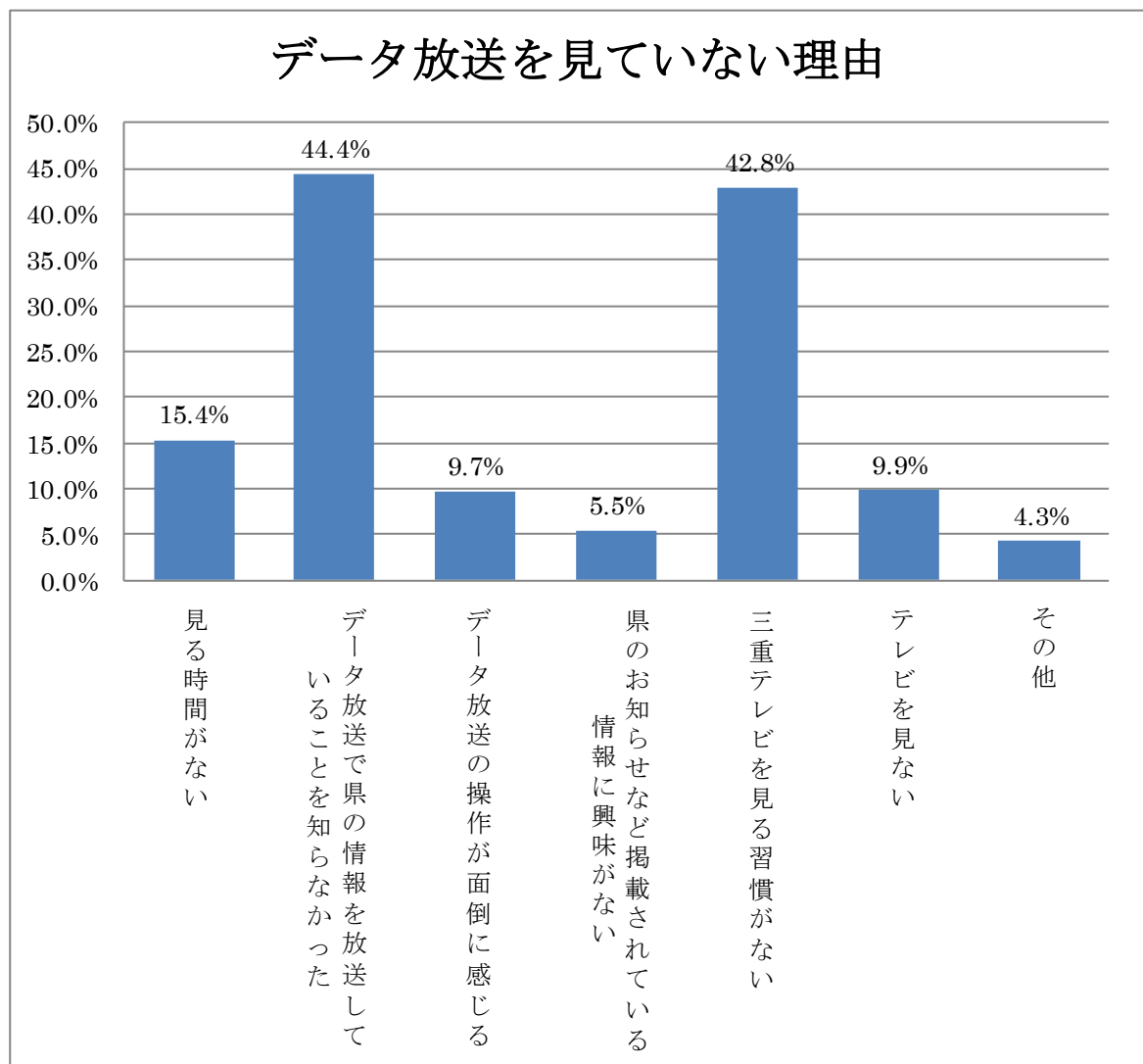
また、日常の視聴習慣となっている「いつも見ている」「時々見ている」「たまに見ている」とご回答いただいた方は 14.0%（121 人）にとどまっていることから、データ放送の視聴の定着化に向けて、データ放送の周知とともに、画面の見やすさやなどに改善を図っていきたいと考えています。



### 【設問 11】 データ放送を見ていない理由について

設問 10 で「データ放送を見たことがない」を選んだ方（586 人）に、データ放送を見ていない理由についてお聞きしたところ、「データ放送で県の情報を放送していることを知らなかった」が 44.4%（260 人）、「三重テレビを見る習慣がない」が 42.8%（251 人）でした。

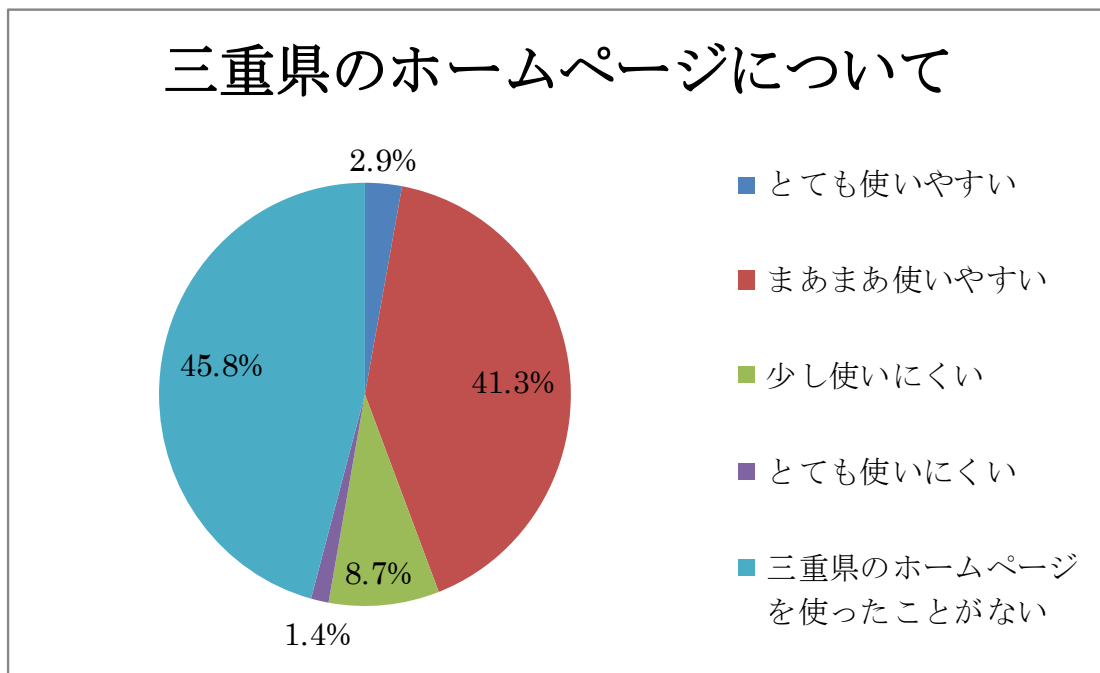
県民の皆さんにデータ放送を見ていただけるよう、データ放送そのものの認知度を高める取り組みが必要です。今後も、県のイベントやお知らせ、防災情報などの暮らしに役立つ情報が簡単な操作で入手できることを周知するとともに、掲載内容を充実し、県の情報を的確にお届けできるよう情報発信に取り組んでいきたいと考えています。



### 【設問 12】 三重県のホームページについて

三重県ホームページは、平成28年4月にデザインの統一化やサイト構成の見直し、スマートフォン対応等のリニューアルを行ったところですが、「とても使いやすい」、「まあまあ使いやすい」を選んだ方は、合わせて44.2%（382人）、「とても使いにくい」、「少し使いにくい」を選んだ方は、合わせて10.1%（87人）でした。そのため、リニューアルの目的は、概ね達成できたと考えています。

一方、「三重県のホームページを使ったことがない」を選んだ方は、45.8%（396人）でした。これは、三重県ホームページにどのような情報が掲載されているかが十分認知されていないためと考えられるため、さらなる内容の充実を図るとともに、SNSなどと連携して三重県ホームページがより身近に感じていただけるよう取り組んでいきたいと考えています。



### 【設問 13】 三重県のホームページについて（自由記述）

三重県のホームページについて、どのような改善点があるかをお聞きしたところ、アンケートに回答いただいた865名のうち、420名の方から感想やご意見、ご提案をいただきました。

特に、見やすさやデザインに対する意見が多く、探しやすい、わかりやすいという意見もあれば、たどり着くのに時間がかかる、わかりにくいという相反する意見もいただきました。

その他、内容に関するご意見として、知りたい情報が掲載されていない、内容がわかりにくいといったご意見もいただきました。

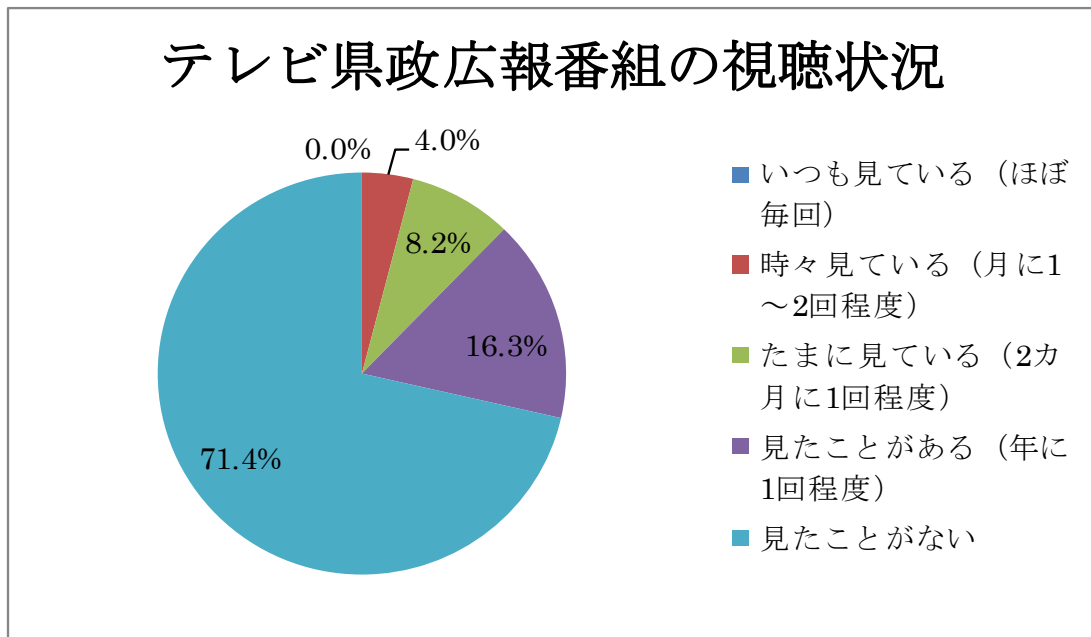
今後、いただいた意見を参考に、さらに、見やすく、使いやすいホームページ作りの参考にさせていただきます。



#### 【設問 14】 テレビ県政広報番組の視聴状況について

テレビ県政広報番組「県政チャンネル」については、「いつも見ている」「時々見ている」とご回答いただいた方の割合が全体で 4.0%（35 人）となっています。

一方、見たことがない方は、71.4%（618 人）となっていることから、今後もさまざまな世代の皆さんに見てもらえるような番組制作に心がけるとともに、広報紙「県政だより みえ」や県ホームページとの連動や、番組そのものの広報に努め、番組の認知度を高める取り組みを行っていきたいと考えています。

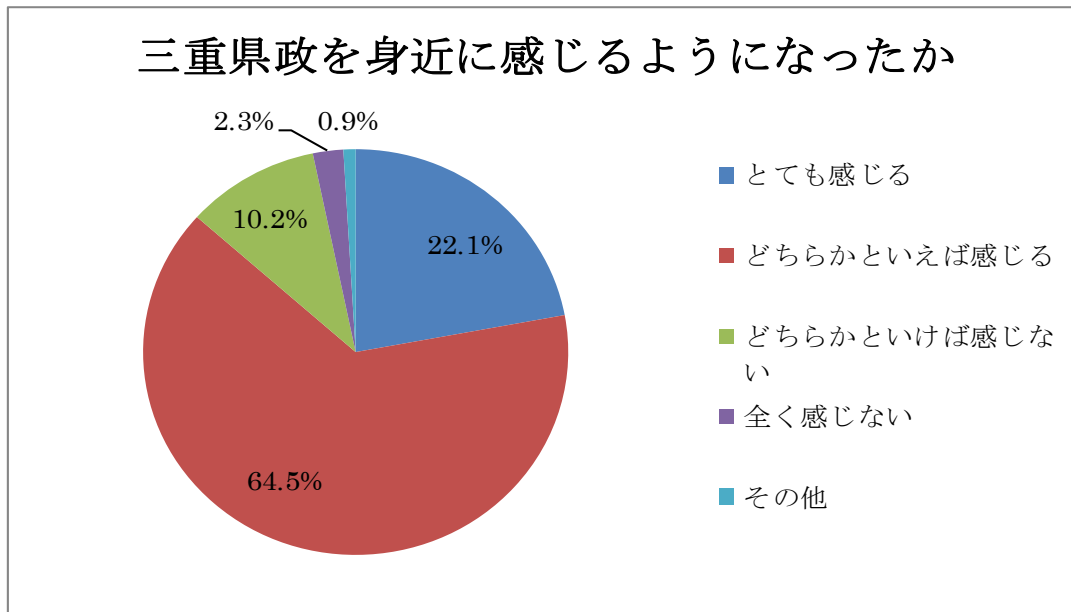


### 【設問 15】 e－モニターアンケートに参加したご感想について

#### （三重県政を身近に感じるようになったか）

e－モニターアンケートに参加して、県政を身近に感じるようになったかをお尋ねしたところ、「とても感じる」「どちらかといえば感じる」を選んだ方が、86.6%となり、ほとんどの方が県政を身近に感じるようになったとお答えいただきました。

一方、「どちらかといえば感じない」「全く感じない」を選んだ方の割合は、12.5%となっています。モニターの皆さんが、県政に興味を持ち、県政を身近に感じていただけるアンケートとなるよう引き続き努めてまいります。



### 【設問 16】 e－モニターアンケートに対するご意見について（自由記載）

1年間、e－モニターアンケートにご参加いただいた経験をもとに、感じたことやご意見、ご提案について自由にお答えいただきました。

アンケートに回答いただいた皆さんの7割を超える608名の方から感想やご意見、ご提案をいただきました。本当にありがとうございました。

「県の取組や活動等に関心を持つようになった」、「イベント等に参加するようになった」、「県の広報誌やホームページを見るようになった」など、アンケートを通して、県政を身近に感じるようになったとの感想を多くの方からいただきました。

また、たくさんのご意見がありました「アンケートの年間スケジュールを知らせてほしい」につきましては、平成29年度から半期毎にアンケート実施計画表をお知らせすることとしました。

このほか、「アンケートが県政に役立っているのか」、「施策へ反映されたこと、改善されたことについて具体例を示してほしい」など、アンケート結果の活用に対するご意見や、「選択肢を広げてほしい」、「自由記載を増やしてほしい」など、アンケートの内容に関するご意見もいただきました。皆さんのご意見を踏まえたアンケートや、アンケート結果の活用報告となるよう取り組んでまいります。

最後に、今回いただきましたご意見、ご提案につきましては、モニターの皆さんが利用しやすく、より県政へのご意見をお聞かせいただくための参考とさせていただきます。